

芸振



芸振HP

GEISHIN No.156

NPO法人 大分県芸術文化振興会議 通巻第156号 2026年9月発行

目次

芸術文化の未来……………	1	芸振ダイアリー……………	7
令和8年度総会報告……………	2	県から情報……………	7
令和8年度事業計画……………	3	お知らせ……………	8
海外派遣研修を終えて……………	6	事務局だより……………	8
コラム～あのころの芸振～……………	6		

芸術文化の未来

国内では物価高、円安、株価急騰、また覇権競争主義による世界不安など社会情勢は混沌としています。社会が危機に陥るとき芸術や文化は何ができるか。芸術や文化は人の心を癒やし、希望や生きる勇気を与えてくれるもので、社会経済が発展するほど人間性の証明として一層必要です。また個と社会を繋ぐ媒体として芸術文化活動は重要で、社会には無くてはならないものといえます。

私のアトリエに鶴見・由布の遠望を描いた1枚の油絵があります。作者は浜田九一郎、昭和56年から昭和59年まで2期4年美術協会会長、そして芸振名誉会員を務めた大先輩の洋画家で、先生は生涯大分の山々を愛し、鮮やかな色彩と鋭い筆致で雄大にそして詩情豊かに表現し続けました。絶筆となるふるさと島原の普賢岳の絵は亡くなる直前まで筆を入れていたと聞いています。生涯をかけて絵の道を追求した84年でした。

1964年12月26日に芸振が発足して、昨年創立60周年を迎えました。芸振が大分県の芸術文化の推進・発展に果たしてきた役割は非常に大きく、大分県はじめ、芸振加盟団体、賛助会員、個人会員等多くの方々のご支援とご協力によるものです。浜田先生のように一つの道に精進している方々が結集した芸振の活動が大分県の芸術文化の発展や児童生徒の情操教育に寄与してきた功績は一言では語り尽くせません。

一方で少子化、高齢化、文化予算の削減等で加盟団体の活動は厳しい状況にあることも課題ではありますが、人々の生きる勇気や笑顔のためには芸術文化はなくてはならないもので、芸振事業を推進していくことが大分県の未来につながると強く感じます。今後とも皆様方のご支援で芸振活動がさらなる発展・推進されることを願っています。

(芸振事務局長 林 淳一郎)



高崎山 (林 淳一郎)

令和8年度総会報告

令和8年度通常総会を令和8年6月16日14時からアイネス2階大会議室において開催しました。総会には会員総数223名（団体会員131名、個人会員92名）のうち176名が出席（委任状を含む）。藤間次登理事長の挨拶に続き、来賓として大分県企画振興部の上城哲部長に挨拶を頂戴した後、議長に一般社団法人二紀会大分支部の大渡尚己氏、議事録署名人に理事長ほか大分県中学校文化連盟の小池桂子氏、男声合唱団豊声会の佐藤則行氏を選任しました。

第1号議案令和7年度事業報告、第2号議案令和7年度決算報告及び監査報告、第3号議案令和8年度事業計画、第4号議案令和8年度予算について、事務局長からの議案説明の後、それぞれ質疑、採決を行い、いずれも満場一致で議決されました。

引き続き、第5号議案役員の選任について、現在の理事及び監事の任期が6月17日であることから、役員選考委員会から答申のあった理事12名と監事2名について諮った結果、答申どおり満場一致で選任されました。

総会終了後、直ちに別室で役員選定のための互選会が行われ、理事長に藤間次登氏、副理事長に長野薫氏、山田義空氏、代表監事に清原保雄氏をそれぞれ選定しました。



新役員の紹介

役職名	氏 名	役職名	氏 名	役職名	氏 名
理 事 長	藤間 次登	理 事	後藤 青雲(美 術)	理 事	林 淳一郎(美 術)
副理事長	長野 薫(音 楽)	理 事	堺 絵理(演 劇)	理 事	深田 振霊(音 楽)
副理事長	山田 義空(文 芸)	理 事	園田 弥生(音 楽)	代表監事	清原 保雄
理 事	岩男 尚子(生活文化)	理 事	中村 弘人(音 楽)	監 事	永見 政子(音 楽)
理 事	尾野 るり(舞 踊)	理 事	花柳裕句匠(舞 踊)		

◆令和7年度芸振の決算について

令和7年度の決算では、収入合計が16,332,540円、支出合計は15,212,446円で、単年度決算では差引992,094円の黒字となりました。これは文化キャラバン事業について、令和7年度の新規事業である伝統文化体験プログラム事業に取り組んだため、県の負担金が増えるなど、各実行委員会からの事務費が増額したこと等によるものです。その結果、次期へ繰越正味財産額は4,303,800円となりました。

◆令和8年度芸振の予算について

令和8年度予算では、令和7年度決算の結果、992,094円の決算剰余金が生じたため、その一部を「芸振未来基金設置要綱」に基づき、基金引当金として積み立て、芸術文化振興事業の充実を図ることとしました。

事業計画では、芸振の主要事業ある文化キャラバン事業で昨年度を上回る応募があるため、実行委員会の予算が不足した場合は芸振からの負担金を充てるなど、事業予算の重点配分を図る予算としています。基金事業や海外派遣研修事業等の計画がないことから、収支としてはともに、15,752千円を見込み、収支が均衡する予算としておりますが、依然厳しい予算であることに変わりはなく、引き続き費用の削減に努めていくこととしています。

令和8年度事業計画

令和8年度事業計画では、芸振の主要事業である「文化キャラバン事業」、「芸振補助事業」を中心に12月には「文化を語る夕べ」の開催を予定しています。

◆文化キャラバン事業

会員団体の皆様のご協力のもと、各地域の小中学校で行う文化キャラバン事業も昭和60年（1985年）の開始から40年を経過しました。令和7年度は県下4施設、51校で演奏や舞台、伝統芸能等の公演が行われ、延べ6,722名の県民や子どもたちが芸術文化に触れることが出来ました。令和8年度は6施設、62校（うち伝統文化体験プログラム事業31校）で開催を計画しており（令和8年7月31日現在）、昨年度より多くの応募が寄せられています。

令和8年度 文化キャラバン実施計画

●大分県芸術文化振興会議主催

No.	市町村	会 場 名	派 遣 団 体 名
1	大 分 市	ア ー ト プ ラ ザ	大分クラリネットアンサンブル
2		大 分 県 立 病 院	グループUNO
3		コンパルホール	合唱団「藍」
4	中 津 市	コ ア や ま く に	スウィングエコーズ ジャズオーケストラ
5	豊後大野市	豊後大野市総合文化センター（豊後大野市立緒方小学校）	PATHMA
6	由 布 市	由布市教育委員会（庄内公民館 大ホール）	大分県児童文化研究会

●芸術文化を通じた青少年健全育成事業実行委員会による実施（芸振共催）

No.	市町村	会 場 名	派 遣 団 体 名
1	大 分 市	吉 野 中 学 校	アトリエ弾
2	別 府 市	石 垣 小 学 校	大分マンドリンオーケストラ
3		大 平 山 小 学 校	大分二期会
4		上 人 小 学 校	男声合唱団 豊声会
5	中 津 市	緑 丘 小 学 校	大分県人形劇サークル協議会
6		沖 代 小 学 校	グループUNO
7		豊 田 小 学 校	おおいたオペラカンパニー
8		深 水 小 学 校	大分クラリネットアンサンブル
9	日 田 市	真 坂 小 学 校	室内楽おおいた〜grand〜
10		本 耶 馬 溪 中 学 校	おおいたオペラカンパニー
11		前 津 江 小 学 校	おおいたオペラカンパニー
12	佐 伯 市	東 有 田 中 学 校	Primavera
13		切 畑 小 学 校	大分マンドリンオーケストラ
14		渡 町 台 小 学 校	情景ヲ奏デル
15	白 杵 市	米 水 津 小 学 校	大分県庁職員吹奏楽団
16		白 杵 南 小 学 校	大分二期会
17	竹 田 市	直 入 中 学 校	管楽器プレイヤーズ大分
18	豊後高田市	草 地 小 学 校	大分県人形劇サークル協議会
19	杵 築 市	杵 築 小 学 校	ピアノ演奏グループ「O'未来」
20	宇 佐 市	天 津 小 学 校	大分県児童文化研究会
21		佐 田 小 学 校	管楽器プレイヤーズ大分
22		横 山 小 学 校	情景ヲ奏デル
23	豊後大野市	小中一貫教育校 清川小中学校	情景ヲ奏デル
24	由 布 市	谷 小 学 校	OMAP
25	国 東 市	安 岐 中 央 小 学 校	Primavera
26		安 岐 中 学 校	室内楽おおいた〜grand〜
27		国 見 中 学 校（みんなんかん）	カサ・デ・ギターラ
28	姫 島 村	姫 島 小 学 校	ピアノ演奏グループ「O'未来」
29	日 出 町	豊 岡 小 学 校	武蔵野音楽大学同窓会大分県支部
30		日 出 小 学 校	PATHMA
31	九 重 町	野 矢 小 学 校	武蔵野音楽大学同窓会大分県支部

●伝統文化体験プログラム事業実行委員会による実施（芸振共催）

No.	市町村	会 場 名	派 遣 団 体 名
1	大 分 市	神 崎 小 学 校	一般社団法人 表千家同門会大分県支部
2		佐 賀 関 中 学 校	大分県日本舞踊連盟
3		吉 野 中 学 校	大分県連句協会
4		大 分 支 援 学 校	NPO法人 大分県書写書道指導者連合会
5	別 府 市	石 垣 小 学 校	秀絃会
6		境 川 小 学 校	大分県現代箏曲研究会
7		学校法人 別府大学 明星小学校	NPO法人 大分県書写書道指導者連合会
8	中 津 市	豊 田 小 学 校	大分県民謡連盟
9	日 田 市	朝 日 小 学 校	大分県三曲協会
10		い つ ま 小 学 校	秀絃会
11		光 岡 小 学 校	大分県現代箏曲研究会
12		日 隈 小 学 校	大分県三曲協会
13	佐 伯 市	東 有 田 中 学 校	大分県現代箏曲研究会
14		東 雲 中 学 校	大分県能楽連盟・能を楽しむ会
15		直 川 中 学 校	秀絃会
16		本 匠 中 学 校	大分県能楽連盟・能を楽しむ会
17	白 杵 市	市 浜 小 学 校	大分県民謡連盟
18		白 杵 小 学 校	華道家元 池坊大分支部
19		南 野 津 小 学 校	大分県三曲協会
20	津 久 見 市	南 中 学 校	長唄 松樹會
21		青 江 小 学 校	秀絃会
22		城 原 小 学 校	大分県能楽連盟・能を楽しむ会
23	竹 田 市	直 入 中 学 校	一般社団法人 表千家同門会大分県支部
24	杵 築 市	護 江 小 学 校	大分県美術協会
25	宇 佐 市	高 家 小 学 校	華道家元 池坊大分支部
26		柳ヶ浦小学校	大分県現代箏曲研究会
27	国 東 市	国 見 小 学 校	大分県現代箏曲研究会
28	姫 島 村	姫 島 中 学 校	大分県能楽連盟・能を楽しむ会
29		姫島村教育委員会（姫島村中央公民館）	NPO法人 大分県書写書道指導者連合会
30	九 重 町	野 上 小 学 校	大分県三曲協会
31	玖 珠 町	北 山 田 小 学 校	大分県三曲協会



伝統文化体験プログラム
華道家元池坊大分支部／宇佐市立高家小学校



芸振補助事業 秀絃会／埋み火の会

◆芸振補助事業

芸振補助事業は会員団体が日頃の活動の成果発表や研修会等に要する費用の一部を補助する制度です。令和7年度は44事業に対し、総額1,660千円の補助金を交付しました。令和8年度の事業計画では51事業に対し交付する予定です。

令和8年度 芸振補助事業計画

事業数計 51

	団 体 名	会 場 名	事 業 名
1	歌帖社	ホテル豊泉荘（別府市）	第74回歌帖社全国短歌大会
2	NPO法人 大分県書写書道指導者連合会	クラスス武道スポーツセンター	第9回全国小中学生書道チャンピオン大会決勝大会
3	大分自由美術	大分県立美術館	第56回大分自由美術展

	団 体 名	会 場 名	事 業 名
4	大分創元会	大分県立美術館	第34回大分創元展
5	驥の会	大分県立美術館	第10回驥の書展
6	行動大分作家協会	大分県立美術館	第52回行動大分作家展
7	国画会(絵画部)新大分作家展	大分県立美術館 3階展示室B	第6回国画会 絵画部 新大分作家展
8	新進気鋭の書作家 大分の若い風	大分県立美術館 3階展示室B	第11回新進気鋭の書作家 大分の若い風
9	新潮流の会	大分県立美術館	新潮流'26展
10	創光写真協会	大分県立美術館	第48回創光写真展
11	一般社団法人 二紀会大分支部	大分県立美術館	大分二紀展 2026
12	別府市美術協会	別府市美術館	第69回別府市美展
13	豊光会	大分県立美術館 3階展示室B	第61回豊光会展
14	大分県三曲協会	コンパルホール	第65回大分県三曲協会定期演奏会 「箏・三絃・尺八による邦楽演奏会」
15	大分県吹奏楽連盟	臼杵市民会館 大ホール	第26回豊の国プラスフェスティバル～社会人バンドの響演～
16	大分県民謡研究会 萬謡會	平和市民公園能楽堂	萬謡會 第27回みんなようフェスタ2026！ ＝第58回総合おさらい会 おおいた民謡宝船＝
17	大分県民謡連盟	エイトピアおおの	大分県民謡連盟による第6回「おおいた民謡の祭典」
18	大分二期会	iichiko音の泉ホール	2027大分二期会ニューイヤーコンサート～新会員を迎えて
19	大分交響楽団	iichikoグランシアタ	大分交響楽団2026ファミリーコンサート
20	グループUNO	iichiko音の泉ホール	第54回演奏会 グループUNO
21	都山流大分県支部	平和市民公園能楽堂	第51回都山流尺八演奏会
22	おおいたオペラカンパニー	iichikoリハーサル室	原 嘉壽子作品における日本語唱法の学び（仮題）
23	大分県庁職員吹奏楽団	iichikoグランシアタ	大分県庁職員吹奏楽団 定期演奏会
24	大分県長唄連盟	別府市コミュニティセンター	第20回長唄連盟おさらい会
25	大分県マンドリン連盟	iichiko音の泉ホール	第49回大分県マンドリンフェスティバル
26	大分大学マンドリンクラブ	コンパルホール	大分大学マンドリンクラブスプリングコンサート
27	大分マンドリンオーケストラ	iichiko音の泉ホール	大分マンドリンオーケストラ第38回定期演奏会
28	歌曲の会	iichiko音の泉ホール	歌曲の会 第29回演奏会～歌う喜びを時と共に！～
29	秀絃会	山田別荘	地歌・箏曲 埋み火の会～江戸の魂、大分に響く～
30	情景ヲ奏デル	大分市イシカワ珈琲店	グランドハーブと歌で奏でるクリスマス
31	白と黒	iichiko音の泉ホール	白と黒 冬のコンサートPart. XXIX（第29回）
32	長唄 松樹會	コンパルホール	長唄松樹會継承80周年記念演奏会 －芳村孝次女師籍55年を迎えて－
33	ピアノ演奏グループ「未来」 大分県支部	iichiko音の泉ホール	ピアノ演奏グループ「O'未来」第35回定期演奏会
34	おおいた演劇の会	大分市内、別府国際観光港 旧フェリーさんふらわあ乗り場	第17回朗読劇「蟬なきやまず～大分の空襲より～」
35	大分県子ども劇場連絡会	佐伯市・大分市	第5回「はじめてのぶたい」～乳幼児向け舞台鑑賞体験事業～
36	大分県児童文化研究会	由布市はさま未来館	第63回大分県児童文化祭
37	大分県人形劇サークル協議会	臼杵市野津中央公民館	第62回大分県人形劇フェスティバル
38	くすまち演劇研究会	くすまちメルサンホール	くすまち演劇研究会 第15回公演「演題未定」
39	劇団OTC	別府市公会堂	室温
40	劇団不二野座	J:COMホルトホール大分 小ホール	バリアフリー 朗読会
41	一般社団法人 表千家同門会大分県支部	コンパルホール	表千家同門会学校茶道合同茶会
42	大分県文化団体連絡協議会	大分県立美術館 1階	2026 第57回大分平和美術展

(芸術文化活動成果発表 計42団体)

43	大分県歌人クラブ		大分県歌人クラブ創設65周年記念 『大分県短歌名鑑第11集』刊行事業
44	大分県俳句連盟		「俳句名鑑・一人二句集」募集・発行
45	大分県番傘川柳連合会	県内一円	川柳機関誌「高崎山」発行

(刊 行 物 の 発 行 計3団体)

46	白日会大分支部	アートプラザ	令和8年度白日会支部研修会
47	大分県合唱連盟	荷揚複合公共施設、コンパルホール	2026年度課題曲講習会
48	大分県中学校文化連盟	コンパルホール	大分県中学校文化連盟 合唱講習会

(文 化 活 動 研 修 計3団体)

49	臼杵市文化連盟	臼杵市民会館	第68回臼杵市秋の文化祭
50	玖珠町文化振興会	くすまちメルサンホール	第57回くすまち文化祭
51	津久見市文化協会	津久見市民会館	第56回津久見市文化祭

(地域文化団体活動促進 計3団体)

◆文化を語る夕べ

第39回を迎える「文化を語る夕べ」を12月16日(水)に大分レンブラントホテルで開催します。他のジャンルの文化団体や文化行政に携わる方々との交流を通じ新しい芽吹きがあればと期待しています。11月にご案内を差し上げる予定ですのでお気軽にご参加ください。

◆海外派遣研修

若手の芸術家を対象に、海外での調査研究を通じて研鑽を積むことを目的に、海外での研修渡航費用の一部を助成しています。令和8年度の助成はありませんでしたが、12月に推薦を締め切り、2月末ごろ選考会を開催することとしていますので所属団体を通じてご応募ください。

◆大分県民芸術文化祭の開催

第28回を迎える大分県民芸術文化祭が、令和8年9月27日の開幕行事「キッズシアターproject2026 ボクの地球を探して〜ピーター冒険記〜」を皮切りに11月まで開催されます。

今年のポスターは大分県立芸術文化短期大学の安部花奈美さんの作品が選ばれました。期間中は開幕行事や閉幕行事、県美展等の実行委員会主催行事のほかジャンル別行事、人材育成行事、地域文化行事等の30を超える共催行事や参加行事が県下各地で予定されています。

参加行事(12月までに開催予定の行事を対象とした文化祭実行委員会の後援行事)については11月末まで受け付けていますので是非ご応募ください。



大分県民芸術文化祭HP

海外派遣研修を終えて

今年2月末からオーストリア・ドイツに滞在し、制作と取材を行いました。ウィーン9区のギャラリーで個展を開催し、油彩画16点と現地制作のドローイング4点を展示。表題作「スフィンクス」はベルベデーレ宮殿のスフィンクス像に着想を得た作品で、02年の初渡奥時の感動を、長年の構想を経てウィーンの地で結実させました。会期中は予想を超える多くの方にご来場いただき、異国の地で言葉や文化の壁がある中私の絵画を受け入れ楽しんでいただけたことは、画家冥利に尽きるかけがえのない経験となりました。

また音楽を通じて絵画表現を見つめ直す機会にも恵まれました。オペラ「魔笛」の観劇やピアニストの友人の演奏に触れ、イデオロギーが揺らぐ今の時代にあって、時代の風潮にとらわれず「こう描く」と芯を貫く覚悟と勇気をもらい、創作への姿勢を見つめ直しました。研修中盤からは油彩制作を本格的に開始し、留学時代の画材を用いて6点を制作。うち4点は4月の東京銀座での個展に出品できました。40日間、温かい人々に恵まれ充実した研修となりました。今回得た経験を今後の制作と大分の文化発展に貢献できるよう尽力してまいります。この度は貴重な機会をいただき心より感謝申し上げます。

(川野美華)



ウィーンでの個展

コラム～あのころの芸振～

第3回目を迎えた特集「コラム あのころの芸振」。創刊から156号を迎える機関紙の中から懐かしい記事を発掘し紹介しています。今回は昭和46年1月発行のNo.4号から、大分勤労者演劇協議会委員長の中沢とおるさんの当時の時代背景意を感じさせる寄稿『働く人々に支えられた「芸振」へ』をご紹介します。

県下ですすめられている芸術文化運動は、内容的にも広いし、地域的にもまた広い。だがそのすべてが芸術振興会議に集まっているとはいえない。地域的には大分市中心にかたよっているし、内容的にはマスコミにのったものが多い。“名もなく貧しく美しく”明日においてひたむきに生きようとしている多くの芸術文化活動がもっと大切にされなければならない。そこには生きている息吹きがあり、喜びと悲しみと苦しみと怒りがある。人間がある。エネルギーの源泉がそこにある。そうした人々に愛され支えられる芸術振興会議であってこそ「県芸術文化振興会議」の名が冠せられる。

「県民オペラ」をうたう人々と、労働の汗にまみれながらうたを求める「労音」の会員や「みんなうたう会」の人々との交流がある。「県美協」の画家たちと、激しい労働のなかに絵筆を握る「職美協」の人々との交流がある。「造形劇場」と「労演」会員の交流がある。芸術創造はイデオロギーと離れて存在はしない。芸術創造はイデオロギーを反映するための専門的技術を必要とする。この両者はたえず統一され、とぎすまされていなければならない。いま大分で咲き乱れている芸術文化の一つの到達点は、かつて苦しい茨の中にあった。アカデミックな殻を破るための苦難の胎動があったように、いまの一つの到達点は永遠ではない。しかし自由主義を賛美する芸術の限界は、アングラ文化に象徴される抜け道のない深淵にはまりこんだ。破綻はすでに誰の目にも明らかである。明日の芸術文化を創りだすエネルギーの源泉は働く人々の中からこそ求められる。それが歴史である。私はかたよったイデオロギーを主張するのではない。明日の大分の「芸術」を創り出すための火花をそこに求めるのだ。「芸術」とは本来そうあるべきものだし、それぞれの活動を物心ともにお互いの力で保障されあう場ではないとしないし、そのいみで徹底した民主的運営が要求されるのである。

芸術ダイアリー

- 2月25日 **第4回三役会議** 令和7年度事業の進捗状況、令和8年度事業の応募状況の報告や第4回理事会に向けての協議を行いました。
- 3月17日 **第4回理事会** 総会の日程、役員任期や次期役員の選考方法の説明、令和8年度の年間スケジュール等の協議を行いました。
- 4月10日 総会で改選される次期役員について、役員選考委員会へ諮問しました。
- 4月28日 **役員選考委員会** 諮問した役員選考につき、4月30日付けで答申をいただきました。
- 5月18日 **第1回三役会議** 令和7年度の決算見込額、令和8年度予算額、役員選考委員会からの答申内容の確認等を行いました。
- 5月26日 **監査** 清原代表監事、永見監事による令和7年度決算に伴う監査が行われました。会計や事業執行等、適正に処理されている旨の監査報告をいただきました。
- 5月28日 **第1回理事会** 新しい年度となって最初の理事会を開催しました。総会に向けての議案を協議し、監査結果についても報告しました。
- 6月16日 **令和8年度通常総会** アイネス2階大会議室において通常総会を開催しました。
- 7月9日 **九州沖縄文化団体連絡協議会** 10日までの2日間にわたり、熊本市において開催されました。これは、九州沖縄各県で活動する文化団体が各県の課題等を持ち寄り、意見交換を行うものです。今年は会員向けの補助制度や伝統文化の保存継承など5つのテーマにつき協議が行われました。

県から情報

大分県は令和8年3月に10年ぶりに「大分県文化振興基本方針」を改定し、あわせて「大分県文化創造戦略（第4期）」を策定しました。

基本方針では、文化振興施策を推進する視点として、①豊かな人間性と創造性を育む ②伝統をつなぎ、新たな文化が花開く ③創造県おおいの推進の3点を掲げ、その推進体制の充実を図るため、①県民・文化団体等との連携と②国・市町村との連携及び支援の2点に取り組むこととしています。

特に、「国・市町村との連携及び支援」では国との連携を密にし、文化庁等が展開する様々な支援策を積極的に活用すること、市町村との連携を強化し、意見交換を通じて把握した地域のニーズに沿った支援等に取り組むことなど、具体的な支援の方向性が示されています。

基本方針の具体的な施策を記載した文化創造戦略では①鑑賞機会の充実 ②芸術文化活動への支援 ③芸術文化の担い手の育成 ④他分野連携と地域活性化の4つの重点戦略が定められました。

主な取組項目として、「芸術文化活動への支援」では芸振が行う事業への支援のほか、新たに市町村が重点的に進める芸術文化事業に対する伴奏支援の実施も記載されています。

また、「芸術文化の担い手の育成」では、アーティストを学校等に派遣して行う公演会やワークショップ、伝統文化団体が実施する鑑賞会や体験会など、次世代人材の確保や裾野の拡大に向けた支援に取り組むこととされました。

*詳細は大分県庁ホームページから「大分県文化振興基本方針」、「大分県文化創造戦略(第4期)」を検索してください。

お知らせ

◆助成制度のご紹介

公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団から県を通じて来年度の公演活動等の文化事業について助成団体の募集を行う旨の連絡がありました。締め切りは令和8年11月30日(月)です。詳細は同財団のホームページをご参照ください。

◆新会員紹介(7月31日現在) 個人会員 令和8年度 園田 弥生

事務局だより

◆会費の納入について

2月下旬に令和8年度分会費の納付書をお送りしています。芸振の活動は皆様の会費により成り立っています。わずかですが、まだ未納の会員の方がいますのでお心当たりの方は早急に納付をお願いします。

◆通信事務の効率化について

郵便料金の値上がりや通信事務の迅速化のために、芸振ではできるだけ会員の皆様との連絡はメールで行いたいと考えています。芸振へメールの登録をしていない会員で、ご協力いただける方は会員名を記載のうえ、info@geishin.jp まで送信ください。

編 集 後 記

7月5日の大分合同新聞に「過度な収益追求に疑問」と題する論説が掲載されていた。ここでは文化庁が国立博物館、美術館に対し、収益を重視した展示事業を促す数値目標を示したことに目を向けている。

目標はあくまで国立施設に関するものであるが、記事ではその影響がいつかは地方に及ぶことも懸念している。芸術表現が富や力と一線を画して発展してきた側面も否定できないが現実には厳しい。

芸振としてはこの目標が、その先にある各文化団体の活動にどのような影響を与えるのかが関心事だ。集客力のある舞台や展示は増えるが、挑戦的で多様な文化や芸術が人々の目に触れる機会は確保されるだろうか。収益性の重視で施設の利用がしづらくなり、文化団体の成果発表の場が減りはしないか。また、地域の芸能や伝統文化など比較的集客力の少ない分野への関心は維持されるだろうか。

芸振にはかつて、街頭に立っての募金や多くの企業からの寄付を募り、行政にも働きかけて「芸術文化振興基金」を創設した経緯もある。芸術や文化の未来をささえるうえで、私たちには地域や若い挑戦者たちがもたらす価値にも目を向けることが求められているように思えてならない。子供のころに触れた小さな感動を受け継ぎ、伝承する力に期待したい。

NPO法人 大分県芸術文化振興会議

〒870-0029 大分市高砂町2-33 iichiko総合文化センターB1F
TEL : 097-536-0522 FAX : 097-536-6188 E-mail : info@geishin.jp
URL : https://oita.geishin.jp/